

国際大会参加報告書

平成21年 11 月 18日

社団法人 日本ボディビル連盟
会長 玉 利 齊 様

報告者 朝生照雄 ⑧

大会名	世界女子フィットネス、ボディフィットネス、ボディビル&男子フィットネス選手権大会				
開催期間	2009年 11月 16日 ~ 11月 19日				
開催場所	国名: イタリア		都市名: コモ市		
参加国数	40 カ国		参加選手数	175 名	
役員		役員名	役職・他		
	団長	朝生照雄	選手強化委員長		
	監督	朝生照雄	選手強化委員長		
	コーチ	松本俊子	選手強化委員		
	通訳				
選手	選手名	所属連盟	カテゴリー	順位	備考
	望月智子	静岡	ボディフィットネス158以下級	予選敗退	29人出場
	武田智子	静岡	フィットネス163cm以上級	8位	11人出場
	西本朱希	東京	55kg超級	予選敗退	18人出場
レポート	<p>今大会は女子ボディビル体重別2クラス、フィットネスが身長別2クラス、ボディフィットネスが身長別4クラス、更に男子フィットネス1クラス、男子車椅子ボディフィットネス1クラス行なわれ、全10カテゴリー175人の参加があった。</p> <p>日本からはボディビル55kg超級に西本選手、フィットネスに163cm超級に武田選手、ボディフィットネス158cm以下級に望月選手が出場し、上記の結果となった。本大会はイタリア開催ということもあり、ヨーロッパの選手がほとんどであった。各カテゴリーの日本選手権者を派遣させたが、決勝進出の6名には届かず一層のレベルアップを痛感したところでした。ボディビルについては、かつて出場選手も多かったため体重別で3クラスありましたが減少もあり2クラスとなりアジア系の選手には多少不利になっています。しかしその分ボディフィットネスの出場者が4クラスと増え選手全体では多くなっております。フィットネス競技も技がアップし両競技とも見ごたえがあり、華やかで今後ますますの発展が期待されます。唯一日本からの入賞者の武田選手は予選の規定ではトップクラスともひげをとらないところを見せたが、動きのあるパフォーマンスにおいては技の正確さやスピードが若干劣り、表彰台に届かなかったが今後十分届く可能性を感じた。ボディビルの西本選手、ボディフィットネスの望月選手も日本の顔として十分力を発揮していたが、更に向上させなければ、ならないと思われた。特に世界では筋量がさらにアップさせたところ。IFBBでは来年より子供のフィットネス競技を開催させていくようですが、日本においても一層の選手層の拡大を図っていきたいと考えます。また、男子フィットネスのパワーとスピードや下半身の障害者による車椅子ボディフィットネスも開催され大歓声を受け、日本での近い将来開催が望まれる事とおもいました。</p>				

※ 本報告書は帰国後1ヵ月以内に大会結果表を添付して日本連盟事務局に提出して下さい。

※ レポート欄が足りない場合は別紙に記入して添付して下さい。